

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
	ベ ビ ー ファン ド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
主要運用対象	マ ザ ー ファン ド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
	ベ ビ ー ファン ド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
主な組入制限	マ ザ ー ファン ド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	
分配方針		

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）



第18期（決算日：2026年6月9日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用 フリーダイヤル	0120-151034 （受付時間：営業日の9:00～17:00、 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

期間の初めから、米連邦準備制度理事会（F R B）による利下げ決定や底堅い米国景気が支えとなり、概ね堅調に推移しました。2026年3月以降は、中東情勢を巡る地政学リスクが意識され、株価が下落する局面も見られましたが、その後は中東情勢を織り込む動きが一服したことや、企業業績が比較的良好であったことなどを背景に、株価は持ち直しました。結果として、当期間を通じて株価は上昇となりました。

当期間は、人工知能（A I）関連株が株式市場を大きく牽引する中で、ビューティー・ビジネス関連銘柄を含むディフェンシブ性の高い銘柄群が相対的に劣後しました。ビューティー・ビジネス関連の市場環境は、インフレによる実質購買力の低下や消費者の節約志向の高まりを背景に、需要が弱含む状況が続いており、2026年に入り一部で回復の兆しがみられるものの、需要全体としてはなお力強さを欠き、低調な状況が続いています。

運用のポイント

Coachを主力ブランドとするアフォーダブルラグジュアリー企業である「TAPESTRY INC」を新規に組み入れました。フレグランスは高価格帯の商品よりも幅広い顧客層がブランドに触れる機会を提供し、将来の顧客育成にもつながります。ビューティーを起点としたブランドエコシステムの拡大を評価しています。一方、化粧品向け原料を含む幅広い化学品の製造および販売を行う日本の企業である「日油」を全売却しました。同社の事業ポートフォリオにはコモディティ性の高い製品も含まれます。当ファン

ドでは、価格競争力よりもブランドや独自技術によって高い付加価値を創出できる企業を重視しており、銘柄入れ替えの一環として全売却しました。

運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。



運用担当者
柳原 武士

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
14期(2024年6月10日)	10,000		697	9.2	93.4	—	21,408
15期(2024年12月9日)	8,950		0	△10.5	94.9	—	19,040
16期(2025年6月9日)	8,593		0	△4.0	94.8	—	16,987
17期(2025年12月9日)	8,793		0	2.3	94.7	—	14,881
18期(2026年6月9日)	8,462		0	△3.8	94.2	—	12,262

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2025年12月9日	8,793	—	—	94.7	—
12月末	9,040		2.8	95.3	—
2026年1月末	9,092		3.4	95.2	—
2月末	9,585		9.0	96.1	—
3月末	8,413		△4.3	93.4	—
4月末	8,725		△0.8	96.1	—
5月末	8,683		△1.3	93.7	—
(期 末)					
2026年6月9日	8,462		△3.8	94.2	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第18期：2025年12月10日～2026年6月9日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第18期首	8,793円
第18期末	8,462円
既払分配金	0円
騰落率	-3.8%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.8%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

組入銘柄（ULTA BEAUTY INC、ELF BEAUTY INC）の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

第18期：2025年12月10日～2026年6月9日

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

期間の初めから、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ決定や底堅い米国景気が支えとなり、概ね堅調に推移しました。2026年3月以降は、中東情勢を巡る地政学リスクが意識され、株価が下落する局面もみられましたが、その後は中東情勢を織り込む動きが一服したこと

や、企業業績が比較的良好であったことなどを背景に、株価は持ち直しました。結果として、当期間を通じて株価は上昇となりました。

▶ 為替市況

円に対して米ドルやユーロは上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。通貨別では、韓国ウォンやユーロなどの比率を引き上げた一方、日本円などの比率を引き下げました。組入銘柄数については、期間の初めの40銘柄から期間末は44銘柄としました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業を取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「新興国」、「潜在的

主な銘柄入替は以下の通りです。
Coachを主力ブランドとするアフオーダブルラグジュアリー企業である「TAPESTRY INC」を新規に組み入れました。一方で、化粧品向け原料を含む幅広い化学品の製造および販売を行う日本の企業である「日油」を全売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。

（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第18期 2025年12月10日～2026年6月9日	
当期分配金（対基準価額比率）		－（－％）
当期の収益		－
当期の収益以外		－
翌期繰越分配対象額		369

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなど

は、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。足元の株式市場では、人工知能（AI）や半導体関連銘柄が市場を牽引しており、ビューティー関連銘柄の相対的な弱さが目立つ展開となっています。しかしながら、ファンダメンタルズに目を向けると、景気不安が続く環境下においてもビューティー市場は底堅い成長を維持しており、2026年の成長率は2025年を上回ると見込んでいます。

当ファンドでは、こうした安定した需要と成長ドライバーの恩恵を受ける企業を厳選し、中長期的な視点で投資を行ってまいります。

今後は、米国における消費動向の安定化や中国市場の本格回復に加え、新興国市場の成長にも注目しています。また、Z世代による新たな美容需要の拡大や、シニア層の美容意識の高まりなど、幅広い世代における需要の広がりも市場成長を支える重要な要素になると考えています。

2025年12月10日～2026年6月9日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	80	0.901	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(39)	(0.439)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(39)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	3	0.036	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	(3)	(0.036)	
(c)有価証券取引税	1	0.011	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(1)	(0.011)	
(d)そ の 他 費 用	0	0.005	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.003)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	84	0.953	

期中の平均基準価額は、8,897円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

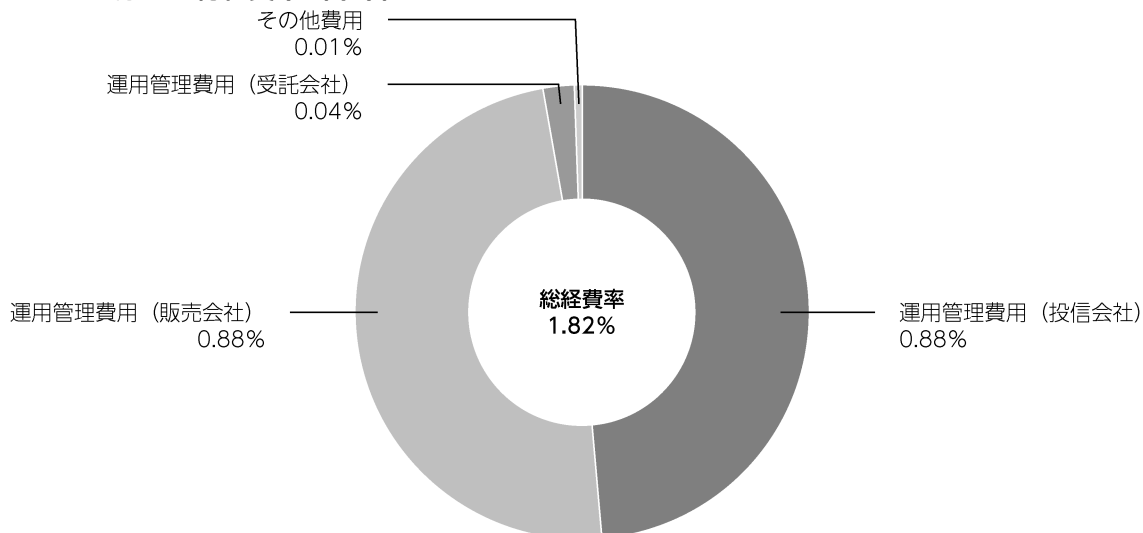
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.82%**です。



（注）費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年12月10日～2026年6月9日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	—	—	1,223,529	2,327,260

○株式売買比率

（2025年12月10日～2026年6月9日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,372,736千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,472,181千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2025年12月10日～2026年6月9日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）>

該当事項はございません。

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 987	百万円 —	% —	百万円 3,384	百万円 241	% 7.1
為替直物取引	1,680	—	—	3,732	165	4.4

平均保有割合 90.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	5,009千円
うち利害関係人への支払額 (B)	144千円
(B) / (A)	2.9%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2026年6月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ビューティー・マザーファンド	7,993,387	6,769,857	12,206,053

○投資信託財産の構成

(2026年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ビューティー・マザーファンド	12,206,053	98.4
コール・ローン等、その他	197,649	1.6
投資信託財産総額	12,403,702	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（11,998,300千円）の投資信託財産総額（13,532,625千円）に対する比率は88.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=160.32円	1 ユーロ=184.80円	1 イギリスポンド=213.82円	1 スイスフラン=200.83円
1 香港ドル=20.46円	100韓国ウォン=10.5282円	1 オフショア元=23.6244円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年6月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,403,702,885
コール・ローン等	197,645,768
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	12,206,053,247
未収利息	3,870
(B) 負債	140,765,615
未払解約金	16,412,658
未払信託報酬	124,118,400
その他未払費用	234,557
(C) 純資産総額(A－B)	12,262,937,270
元本	14,491,597,946
次期繰越損益金	△ 2,228,660,676
(D) 受益権総口数	14,491,597,946口
1万口当たり基準価額(C／D)	8,462円

<注記事項>

- ①期首元本額 16,924,467,159円
 期中追加設定元本額 316,736,708円
 期中一部解約元本額 2,749,605,921円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8462円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,228,660,676円です。

③分配金の計算過程

項 目	2025年12月10日～ 2026年6月9日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	447,112,143円
分配準備積立金額	87,902,852円
当ファンドの分配対象収益額	535,014,995円
1万口当たり収益分配対象額	369円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2025年12月10日～2026年6月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	485,967
受取利息	485,967
(B) 有価証券売買損益	△ 358,748,305
売買益	79,453,692
売買損	△ 438,201,997
(C) 信託報酬等	△ 124,352,957
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 482,615,295
(E) 前期繰越損益金	△1,540,860,090
(F) 追加信託差損益金	△ 205,185,291
(配当等相当額)	(446,698,065)
(売買損益相当額)	(△ 651,883,356)
(G) 計(D＋E＋F)	△2,228,660,676
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△2,228,660,676
追加信託差損益金	△ 205,185,291
(配当等相当額)	(447,112,143)
(売買損益相当額)	(△ 652,297,434)
分配準備積立金	87,902,852
繰越損益金	△2,111,378,237

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第18期》決算日2026年6月9日

[計算期間：2025年12月10日～2026年6月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、6月9日に第18期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
14期(2024年6月10日)	20,566		10.2	98.9	—	23,490
15期(2024年12月9日)	18,563	△	9.7	95.2	—	21,646
16期(2025年6月9日)	17,981	△	3.1	95.0	—	19,225
17期(2025年12月9日)	18,569		3.3	95.0	—	16,532
18期(2026年6月9日)	18,030	△	2.9	94.6	—	13,532

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落 率	式 率	式 率
(期 首)			円	%	%
	2025年12月	9 日	18,569	—	95.0
	12月末		19,112	2.9	95.5
	2026年1月末		19,252	3.7	95.4
	2月末		20,328	9.5	96.5
	3月末		17,863	△3.8	94.0
	4月末		18,556	△0.1	96.5
	5月末		18,492	△0.4	93.9
(期 末)					
	2026年6月	9 日	18,030	△2.9	94.6

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

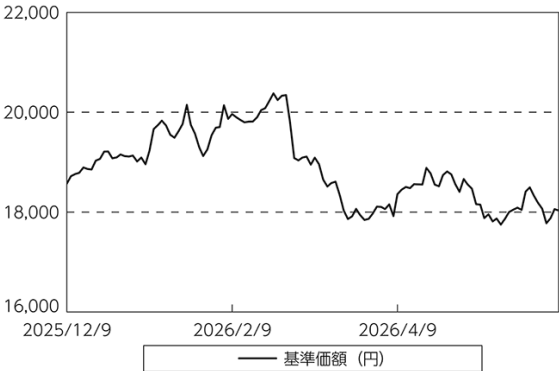
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.9%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

- ・組入銘柄 (ULTA BEAUTY INC、ELF BEAUTY INC) の値下がりなどを背景に基準価額は下落しました。

●投資環境について

◎株式市況

- ・世界の株式市況は上昇しました。
- ・期間の初めから、米連邦準備制度理事会 (F R B) による利下げ決定や底堅い米国景気が支えとなり、概ね堅調に推移しました。2026年3月以降は、中東情勢を巡る地政学リスクが意識され、株価が下落する局面もみられましたが、その後は中東情勢を織り込む動きが一服したことや、企業業績が比較的良好であったことなどを背景に、株価は持ち直しました。結果として、期間を通じて株価は上昇となりました。

◎為替市況

- ・円に対して米ドルやユーロは上昇しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業を取材を通じて選別しました。
 - ・当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。
 - ・通貨別では、韓国ウォンやユーロなどの比率を引き上げた一方、日本円などの比率を引き下げました。
 - ・組入銘柄数については、期間の初めの40銘柄から期間末は44銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

Coachを主力ブランドとするアフオーダブルラグジュアリー企業である「TAPESTRY INC」を新規に組み入れました。一方で、化粧品向け原料を含む幅広い化学品の製造および販売を行う日本の企業である「日油」を全売却しました。

○今後の運用方針

- ・ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野

を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品（特定の肌の悩みに合わせた化粧品）の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

- ・足元の株式市場では、人工知能（AI）や半導体関連銘柄が市場を牽引しており、ビューティー関連銘柄の相対的な弱さが目立つ展開となっています。しかしながら、ファンダメンタルズに目を向けると、景気不安が続く環境下においてもビューティー市場は底堅い成長を維持しており、2026年の成長率は2025年を上回ると見込んでいます。
- ・当ファンドでは、こうした安定した需要と成長ドライバーの恩恵を受ける企業を厳選し、中長期的な視点で投資を行ってまいります。
- ・今後は、米国における消費動向の安定化や中国市場の本格回復に加え、新興国市場の成長にも注目しています。また、Z世代による新たな美容需要の拡大や、シニア層の美容意識の高まりなど、幅広い世代における需要の広がりも市場成長を支える重要な要素になると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年12月10日～2026年6月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 7 (7)	% 0.037 (0.037)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.011 (0.011)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (1)	0.003 (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	10	0.051	
期中の平均基準価額は、18,874円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年12月10日～2026年6月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 67	千円 143,175	千株 348	千円 714,363
外国	アメリカ	百株 166	千アメリカドル 2,265	百株 4,243	千アメリカドル 9,735
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	208	1,727
	フランス	22	1,851	32	1,437
	スペイン	—	—	378	648
	スイス	51	377	—	—
	イギリス	75 (△ 90)	千イギリスポンド 325 (—)	302	千イギリスポンド 871
	スイス	— (—)	千スイスフラン — (△ 32)	221	千スイスフラン 1,195

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2025年12月10日～2026年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	4,372,736千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,472,181千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年12月10日～2026年6月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	987	—	—	3,384	241	7.1
為替直物取引	1,680	—	—	3,732	165	4.4

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	5,559千円
うち利害関係人への支払額 (B)	159千円
(B) / (A)	2.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2026年6月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価	額
	千株	千株		千円
化学 (60.0%)				
A i ロボティクス	223.5	223.5		164,496
日油	74.1	—		—
花王	61.6	49.3		292,398
資生堂	121.5	68.6		175,787
コーセーホールディングス	—	12.6		65,709
ポーラ・オルビスホールディングス	—	54.9		68,652
I - n e	48.4	9.7		12,600
医薬品 (14.0%)				
ロート製薬	143.4	74		182,447
情報・通信業 (26.0%)				
アイスタイル	978.8	877.3		338,637
合 計	株 数 ・ 金 額			
	1,651	1,369		1,300,728
	銘 柄 数 < 比 率 >	8		< 9.6% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価総額の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカドル	千円	
TAPESTRY INC		—	65	921	147,732	耐久消費財・アパレル
COLGATE-PALMOLIVE CO		685	580	4,992	800,396	家庭用品・パーソナル用品
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A		373	373	3,165	507,485	家庭用品・パーソナル用品
INTL FLAVORS & FRAGRANCES		—	57	420	67,344	素材
ELI LILLY & CO		18	14	1,613	258,661	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BATH & BODY WORKS INC		458	458	838	134,408	一般消費財・サービス流通・小売
PROCTER & GAMBLE CO/THE		482	472	6,855	1,099,010	家庭用品・パーソナル用品
RALPH LAUREN CORP		—	12	482	77,289	耐久消費財・アパレル
LULULEMON ATHLETICA INC		35	35	413	66,261	耐久消費財・アパレル
ULTA BEAUTY INC		84	69	3,226	517,295	一般消費財・サービス流通・小売り
ABBVIE INC		126	53	1,193	191,365	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
COTY INC-CL A		5,748	3,668	711	114,109	家庭用品・パーソナル用品
INTERPARFUMS INC		216	108	1,000	160,472	家庭用品・パーソナル用品
APTARGROUP INC		92	70	793	127,184	素材
PLANET FITNESS INC - CL A		162	110	558	89,520	消費者サービス
INMODE LTD		790	646	872	139,910	ヘルスケア機器・サービス
ELF BEAUTY INC		319	319	1,671	267,940	家庭用品・パーソナル用品
KENVUE INC		2,870	1,269	2,227	357,143	家庭用品・パーソナル用品
ODDITY TECH LTD-CL A		173	173	171	27,555	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額	12,637	8,559	32,130	5,151,087	
	銘柄 数 < 比 率 >	16	19	—	<38.1%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
HENKEL AG & CO KGAA VOR-PREF		308	253	1,683	311,082	家庭用品・パーソナル用品
BEIERSDORF AG		326	218	1,505	278,133	家庭用品・パーソナル用品
SYMRISE AG		144	98	743	137,464	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	779	570	3,932	726,680	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<5.4%>	
(ユーロ…イタリア)						
INTERCOS SPA		465	465	558	103,229	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額	465	465	558	103,229	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<0.8%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		71	77	3,755	693,996	耐久消費財・アパレル
L'OREAL		194	171	6,474	1,196,421	家庭用品・パーソナル用品
HERMES INTERNATIONAL		13	19	3,265	603,489	耐久消費財・アパレル
INTERPARFUMS SA		190	190	483	89,395	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額	469	459	13,978	2,583,303	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	<19.1%>	
(ユーロ…スペイン)						
PUIG BRANDS SA-B		1,225	846	1,377	254,634	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額	1,225	846	1,377	254,634	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.9%>	
(ユーロ…スイス)						
DSM-FIRMENICH AG		—	51	343	63,507	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	—	51	343	63,507	
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	<0.5%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	2,939	2,393	20,191	3,731,354	
	銘柄 数 < 比 率 >	9	10	—	<27.6%>	

銘柄		期首(前期末)	当 期 末		業 種 等		
		株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(イギリス)		百株	百株	千イギリスポンド	千円		
UNILEVER PLC		813	658	2,757	589,655	家庭用品・パーソナル用品 食品・飲料・タバコ	
MAGNUM ICE CREAM CO NV/THE		162	—	—	—		
小 計	株 数 ・ 金 額	976	658	2,757	589,655		
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	1	—	<4.4%>		
(スイス)				千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG		3	3	904	181,701	素材 一般消費財・サービス流通・小売り 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AVOLTA AG		361	155	732	147,128		
GALDERMA GROUP AG		185	169	2,833	569,010		
小 計	株 数 ・ 金 額	549	328	4,470	897,840		
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<6.6%>		
(香港)				千香港ドル			
CHINA TOURISM GROUP DUTY F-H		1,624	1,624	8,850	181,087	一般消費財・サービス流通・小売り	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,624	1,624	8,850	181,087		
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.3%>		
(韓国)				千韓国ウォン			
APR CORP/KOREA		204	204	7,484,700	788,004	家庭用品・パーソナル用品	
小 計	株 数 ・ 金 額	204	204	7,484,700	788,004		
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<5.8%>		
(中国オフショア)				千オフショア元			
PROYA COSMETICS CO LTD-A		1,055	1,055	7,021	165,880	家庭用品・パーソナル用品	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,055	1,055	7,021	165,880		
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.2%>		
合 計	株 数 ・ 金 額	19,986	14,823	—	11,504,910		
	銘 柄 数 < 比 率 >	33	36	—	<85.0%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄のくゝ内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2026年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	12,805,638	94.6
コール・ローン等、その他	726,987	5.4
投資信託財産総額	13,532,625	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（11,998,300千円）の投資信託財産総額（13,532,625千円）に対する比率は88.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=160.32円	1 ユーロ=184.80円	1 イギリスポンド=213.82円	1 スイスフラン=200.83円
1 香港ドル=20.46円	100韓国ウォン=10.5282円	1 オフショア元=23.6244円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,532,625,415
コール・ローン等	713,925,510
株式(評価額)	12,805,638,575
未収配当金	13,056,834
未収利息	4,496
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	13,532,625,415
元本	7,505,495,728
次期繰越損益金	6,027,129,687
(D) 受益権総口数	7,505,495,728口
1万口当たり基準価額(C／D)	18,030円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,903,221,510円
 期中追加設定元本額 33,173,843円
 期中一部解約元本額 1,430,899,625円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.8030円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）	6,769,857,597円
ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）	735,638,131円
合計	7,505,495,728円

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

○損益の状況 (2025年12月10日～2026年6月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	141,619,783
受取配当金	135,257,760
受取利息	6,366,065
その他収益金	29
支払利息	△ 4,071
(B) 有価証券売買損益	△ 479,317,012
売買益	1,066,805,392
売買損	△1,546,122,404
(C) 保管費用等	△ 528,305
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 338,225,534
(E) 前期繰越損益金	7,628,899,439
(F) 追加信託差損益金	30,936,157
(G) 解約差損益金	△1,294,480,375
(H) 計(D＋E＋F＋G)	6,027,129,687
次期繰越損益金(H)	6,027,129,687

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。